

原子力規制委員会における高速実験炉「常陽」の新規制基準適合性に関する
審査書（案）の取りまとめに係る知事談話について

このことについて、下記のとおり、大井川知事の談話を発表いたします。

記

- 高速実験炉「常陽」については、国において「GX 実現に向けた基本方針」を踏まえ、次世代革新炉の研究開発に有効活用していくとされており、安全確保に万全を期すのはもちろんのこと、高速炉開発の意義やその必要性について、国民の理解が得られるよう国には説明責任を果たしてもらいたい。
- 県としては、国の審査結果を踏まえ、県原子力安全対策委員会等で安全性や有効性を確認したうえで、原子力安全協定に基づく事前了解について判断していく。

【本件に関するお問い合わせ】

- 原子力安全対策課
担当：宮崎
内線：2911
電話：029-301-2916